

製品安全データシート

改訂日:2012年3月1日

1. 製品及び会社情報

製品名	ソーダ石灰(1号、2号、中粒、小粒)
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪府中央区道修町2丁目3番11号
担当部門	品質保証室
電話番号	(06)6393-4001
FAX番号	(06)6396-7714
緊急連絡先	米山薬品工業(株)三国工場
整理番号	CE3004

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性:区分2 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分1 特定標的臓器・全身毒性:区分1(呼吸器系) (単回ばく露) 特定標的臓器・全身毒性:区分2(肺) (反復ばく露)
-----------	---

* 記載のないものは「分類対象外」,「分類できない」または「区分外」。
絵表示又はシンボル



危険喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器系の障害
長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ
【安全対策】

注意書き

適切な保護手袋を着用すること。
適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	ソーダ石灰(水酸化カルシウムを主成分とする水酸化ナトリウムとの混合物)
別名	ソーダライム
混合物としてのCAS No.	8006-28-8

成分及び含有量①	水酸化カルシウム 約80%
化学式又は構造式	Ca(OH) ₂
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-181
CAS No.	1305-62-0
成分及び含有量②	水酸化ナトリウム 約3%
化学式又は構造式	NaOH
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-410
CAS No.	1310-73-2
成分及び含有量③	水 残り
化学式又は構造式	H ₂ O
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-181
CAS No.	7732-18-5
危険有害成分	水酸化ナトリウム、水酸化カルシウム
危険有害不純物	該当情報なし。

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚を速やかに洗浄すること。 多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 直ちに医師に連絡すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火方法	小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水
消火剤	大火災：粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、散水
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	燃焼性は無い。周辺の火災に適した消火剤を用いる。できれば容器を安全な場所に移動する。不可能な場合は周辺に水をかけ冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
保護具及び緊急時措置	関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和	粉塵の立たない方法で出来るだけ破棄集め、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 局所排気・全体換気	該当情報なし。 取扱い場所には局所排気措置を設置する。使用後は容器を密封する。
安全取扱い注意事項 接触回避	吸込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。
保管 技術的対策	湿気、炭酸ガスを吸収するので、乾燥した場所で密閉して保管する。
適切な保管条件	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し、密閉する。
混触危険物質 容器包装材料	酸類 ポリプロピレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度 日本産業衛生学会 ACGIH	設定なし (Ca(OH) ₂) 2mg/m ³ (NaOH) 5mg/m ³ (Ca(OH) ₂) 2mg/m ³ (NaOH)
設備対策 保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具 衛生対策	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。 ゴム手袋を着用する。 ゴーグルを着用する。 作業衣を着用する。 取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状態、形状、色など 臭い pH 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 引火点 爆発限界 蒸気圧 蒸気密度 比重(相対密度) 溶解度 オクタノール／水分配係数 自然発火温度 分解温度 臭いの閾値 蒸発速度 燃焼性	白色の塊又は粒 無臭 水溶液はアルカリ性 該当情報なし。 該当情報なし。 不燃性 不燃性 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 部分的に水に溶ける。 該当情報なし。 不燃性 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	空气中で湿気及び炭酸ガス等の酸性ガスを吸収する。 二酸化炭素を吸収し発熱する。酸に溶けて発熱する。 空気との接触、加熱、酸との接触 酸類 水の存在下で、多くの金属を侵す。 該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性	経口-ラットLD ₅₀ 7340mg/kg (Ca(OH) ₂) 経口-ラビットLD ₅₀ 500mg/kg (NaOH) 喉、鼻の粘膜に強い刺激を与える。 眼に強い刺激を与える。 重篤な眼の損傷

呼吸器感作性又は皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露

該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
水酸化カルシウム及び水酸化ナトリウムの両方が呼吸器系：区分1 呼吸器系の障害

特定標的臓器・全身毒性-反復暴露

水酸化カルシウムが肺：区分2 長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ

吸引性呼吸器有害性

該当情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性
残留性・分解性
生態蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層に対する有害性

該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。

13. 廃棄上の注意

水を加え酸で中和してから廃棄する。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号
品名(国連輸送名)
国連分類
容器等級

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
3262
その他腐食性固体、塩基、無機物
クラス8
III

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法

該当しない。
該当しない。
施行令第18条の2[名称等を通知すべき有害物] (政令番号317：水酸化カルシウム、政令番号319：水酸化ナトリウム)
該当しない。
腐食性物質
腐食性物質

消防法
船舶安全法
航空法

16. その他の情報

引用文献

15308の化学商品 (化学工業日報社)
安全衛生情報センターHP
記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。